



「三つ星企業」に相応しい高い技術

昨年七月、I A O D E 日本支部の「三つ星企業」に認定された三社のうち一社がプティック創(岡山県倉敷市、池田修二郎社長)である。「毛志の既製服」という範疇での認定だが、メイド・イン・ジャパンのアパレル工場を代表する会社であることが証明された。旧・創作服飾研究所の時代から脈々と受け継いできた技術の高さとモノ作りにかける思いの深さ。プティック創の現状をレポートする。



池田修二郎社長

JR岡山駅から在来線に乗り換えて三ツ目、中庄駅から歩いて約三分の至近距離にプティック創の工場がある。プティック創は二〇〇四年、創作服飾研究所から事業譲渡を受けて紳士のブレタポルテ(高級既製服)、パターンオーダー(P.O.)を製造。創をメインに創作屋が二〇〇六年、創作服飾研究所の親会社である創作屋は一九四六年(昭和二十一年)創業の老舗だったが、民事再生に伴い創作服飾研究所の紳士服部門だけを継承することになった。創小・整理の上、プティック創として創作屋の製造部門を継いでいる。池田修二郎氏は創になった池田修二郎氏は創作屋の創業者、故・池田三郎氏の孫。修二郎氏は長岡、冠二十八年だ。裁縫を行っており、ここからはO.C.A.M.はカー・管理が主なもの。外作(池田社長)という。工業パターン作成、素材

プティック創

所在地 岡山県倉敷市馬場町四十二番(084-62-0781) 人員 百十五人 生産 アイテムズ
ブレタポルテ、パターンオーダー
社長 池田修二郎氏

「を持ち、生産のほは二〇〇〇をプティック創で行っている。シッスルはシア向けのドレス、カジュアルで、ドレスはシルクモール、シルクサッカー、ホームスパンなど生地から企画する。ターゲットから十年、池田社長はバレルメーカーから生産量が時折見せる厳しい表の依頼が来る。最近では百貨店には、将来を見据えて、百貨店からP.O.をやって欲しいとの要望も増えている。経営者としての気概を感じる。また、「P.O.で情報」

「をもち、生産のほは二〇〇〇をプティック創で行っている。シッスルはシア向けのドレス、カジュアルで、ドレスはシルクモール、シルクサッカー、ホームスパンなど生地から企画する。ターゲットから十年、池田社長はバレルメーカーから生産量が時折見せる厳しい表の依頼が来る。最近では百貨店には、将来を見据えて、百貨店からP.O.をやって欲しいとの要望も増えている。経営者としての気概を感じる。また、「P.O.で情報」

「をもち、生産のほは二〇〇〇をプティック創で行っている。シッスルはシア向けのドレス、カジュアルで、ドレスはシルクモール、シルクサッカー、ホームスパンなど生地から企画する。ターゲットから十年、池田社長はバレルメーカーから生産量が時折見せる厳しい表の依頼が来る。最近では百貨店には、将来を見据えて、百貨店からP.O.をやって欲しいとの要望も増えている。経営者としての気概を感じる。また、「P.O.で情報」

「をもち、生産のほは二〇〇〇をプティック創で行っている。シッスルはシア向けのドレス、カジュアルで、ドレスはシルクモール、シルクサッカー、ホームスパンなど生地から企画する。ターゲットから十年、池田社長はバレルメーカーから生産量が時折見せる厳しい表の依頼が来る。最近では百貨店には、将来を見据えて、百貨店からP.O.をやって欲しいとの要望も増えている。経営者としての気概を感じる。また、「P.O.で情報」

気の使い方は末端まで浸透

「P.O.を30%生産している。プティック創の人員は現在百十五人で、年間平均生産額が約七億。P.O.は既製服が七〇%、P.O.が三〇%の構成である。取手先は、ショッキングスポン、コレクション、リデ活用の鈴木健次郎氏も同社を助けた。創屋は自社ブランドを取引先の「その他」は多岐にわたる。同社の技術

「をもち、生産のほは二〇〇〇をプティック創で行っている。シッスルはシア向けのドレス、カジュアルで、ドレスはシルクモール、シルクサッカー、ホームスパンなど生地から企画する。ターゲットから十年、池田社長はバレルメーカーから生産量が時折見せる厳しい表の依頼が来る。最近では百貨店には、将来を見据えて、百貨店からP.O.をやって欲しいとの要望も増えている。経営者としての気概を感じる。また、「P.O.で情報」

「をもち、生産のほは二〇〇〇をプティック創で行っている。シッスルはシア向けのドレス、カジュアルで、ドレスはシルクモール、シルクサッカー、ホームスパンなど生地から企画する。ターゲットから十年、池田社長はバレルメーカーから生産量が時折見せる厳しい表の依頼が来る。最近では百貨店には、将来を見据えて、百貨店からP.O.をやって欲しいとの要望も増えている。経営者としての気概を感じる。また、「P.O.で情報」

カギを握る意識改革

「をもち、生産のほは二〇〇〇をプティック創で行っている。シッスルはシア向けのドレス、カジュアルで、ドレスはシルクモール、シルクサッカー、ホームスパンなど生地から企画する。ターゲットから十年、池田社長はバレルメーカーから生産量が時折見せる厳しい表の依頼が来る。最近では百貨店には、将来を見据えて、百貨店からP.O.をやって欲しいとの要望も増えている。経営者としての気概を感じる。また、「P.O.で情報」



「創作屋」の看板が見えるプティック創の工場正門付近



フロント周りの収まりを左右するクセ処理アイロン



前身のドレープを仕立てる芯据え作業



「ボタン付けマシン」の異名を持つベテラン女性



商品の顔を作る最終仕上げアイロン



生産管理棟の一階で量産品をCAMで裁断



モノ作りの司令塔の役目を果たす生産企画課

「をもち、生産のほは二〇〇〇をプティック創で行っている。シッスルはシア向けのドレス、カジュアルで、ドレスはシルクモール、シルクサッカー、ホームスパンなど生地から企画する。ターゲットから十年、池田社長はバレルメーカーから生産量が時折見せる厳しい表の依頼が来る。最近では百貨店には、将来を見据えて、百貨店からP.O.をやって欲しいとの要望も増えている。経営者としての気概を感じる。また、「P.O.で情報」